

神奈川県内の乳児院施設 9 施設に大型サンポカーを贈呈

神奈川県遊技場協同組合と神奈川県福祉事業協会（会長：伊坂重憲）は、県内の乳児院施設 9 施設に対し、保育用具：大型サンポカー15 台（約 200 万円相当）を贈呈しました。

県内の乳児院の各施設では、乳児の屋外活動のために大型サンポカー必要とし、各方面に助成の要望を行っていたものですが、当協会ではこうした要望に応えるため、神奈川県を通じて全施設に支援を行うこととしたものです。

贈呈当日は、業界役員が代表施設である聖園ベビーホームを訪れ、直接手渡しました。

1. 実施日	平成 24 年 6 月 20 日（水）
2. 場所	聖園ベビーホーム 藤沢市みその台 1-3
3. 寄贈者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会
4. 寄贈先	神奈川県（乳児院施設 9 施設）
5. 贈呈物品	保育用具：大型サンポカー・エアバス 15 台 200 万円相当

6. 概要 神奈川県遊技場協同組合と神奈川県福祉事業協会は、保護者のない一歳未満の乳児、虐待されている乳児、その他家庭の事情により療育者が不在の乳児を入所させ、養育する乳児院の各施設が、乳児の屋外活動を活発化するために各方面に大型サンポカーの助成を要望していることを知り、これら乳児の健康増進等への一助となればとの思いから、神奈川県保健福祉局福祉・次世代育成部こども家庭課を通じ、保育用具：大型サンポカーを寄贈したものです。

寄贈に当たって、神奈川県福祉事業協会伊坂重憲会長は代表施設である聖園ベビーホームを訪れ、「大型サンポカーには一度に沢山の子どもさんを乗せ、安全に移動できるものです。有効にご活用され、戸外活動を楽しんでいただきたいと思います。」と挨拶いたしました。

これに対し、神奈川県保健福祉局福祉・次世代育成部長 大久保 雅一様から県知事感謝状を受贈しました。次いで全施設を代表し、聖園ベビーホーム施設長 平尾京子様から「遊びに出かける子どもがとても喜びます。災害にも役立つと思います。」と感謝の言葉を述べられました。

この贈呈式の模様は、神奈川新聞、毎日新聞でも紹介されました。

